



# 日本戦闘者



荒谷 駿（あらや たかし）

生年月日：昭和34年秋田県出身

略歴：昭和57年東京理科大卒、陸上自衛隊に入隊、第19普通科連隊、調査学校、第1空挺団、第39普通科連隊、陸上幕僚監部防衛部、防衛局防衛政策課戦略研究室等に勤務。平成16年特殊作戦群初代群長に就任。平成20年依頼退職（1等陸佐）。

海外留学：ドイツ連邦軍指揮大学及び米国特殊作戦学校。

平成21年9月～30年10月、明治神宮武道場至誠館館長。

平成30年11月三重県熊野市に「国際共生創成協会：熊野飛鳥むすびの里」設立、代表を務める

著書：『戦う者たちへ』『サムライ精神を復活せよ』『特殊部隊vs.精銳部隊—最強を目指せ』並木書房／『自分を強くする動じない力』三笠書房／『日本の特殊部隊をつくったふたりの「異端」自衛官—人は何のために戦うのか！』ワニプラス

熊野飛鳥むすびの里のHPアドレス  
<https://musubinosato.jp/>

『八紘為宇』という建国以来の民族の理想理念があったからこそ、日本は、世界最長の歴史を持つ国家として現存する。全歴史を通じ、国民の識字率は常に世界最高水準を保ち、したがって、諸子百家や仏教、そして西欧思想まで、多様な異文化を日本の文化の中に同化させてきた。また同時に、世界最強の蒙古を敗退させ、世界の宗教植民地化を企てたカソリック勢力も排除してきた。近代においては、西欧の貪欲な植民地主義から自国を防衛したのみではなく、大東亜の建設を宣言し、アジアから、アメリカ、イギリス、オランダ、オーストラリアを駆逐しアジア諸国を解放するほどの大国となった。残念ながら、帝国海軍と皇室内部の裏切りにより、勝利できたはずの戦いを放棄し、戦後はグローバリストの支配下に落ちてしまった。

戦後は、「志」という言葉は聞くことがなくなり、代わりに「夢」という言葉を使うようになった。「志」には本人の意思が含まれるが、「夢」は願望に過ぎない。また、「志」を立てるにあたっては、帰属社会に貢献するという利他の精神があるが、「夢」は利己的な自己実現欲求であることが多い。だから、職業選択に当たっては、「志」ある人間は、社会が必要としている仕事に身を投じるのだが、今どきの職業選択は、与えられた就職の選択肢から、給料がいいものとか、流行のかっこいいものとか、権力が得られるようなものばかり選ぶ。職業の選択は個人の自由だとかぬかしてみんなが利己的判断で仕事を選んでいたら社会がよくなるはずがない。社会が悪くなると、これまた悪循環で、「夢」さえ持てない若者が急増した。2023年の人口動態統計では10歳代～30歳代の死因はいずれも自殺が最多、10歳代の死因で自殺が1位なのはG7各国では日本のみだ。2024年には、小中高生の自殺が過去最多の527人となった。単純に死亡率を見ても、国連の統計では日本の死亡率は2023年で12.7%と高水準にあり、その後さらに増加している。さすがに世界最高死亡率を記録し続けているウクライナの17.2%よりはましだが、ウクライナと戦っているロシアは12.4%（2024年）だから日本よりはましだ。戦争は悲惨だ！ 戦争反対！ 戦争放棄で平和な国を！ とかぬかしている奴らに、戦争して



いる国より余計に国民が死んでいる多死国家は本当に平和な国なのか？ と聞きたいもんだ。どう見ても、今の日本はいい国ではないよな。

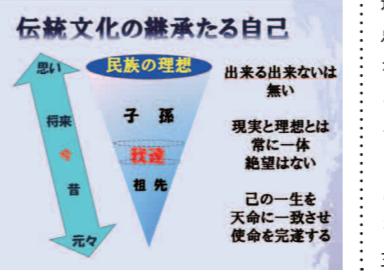
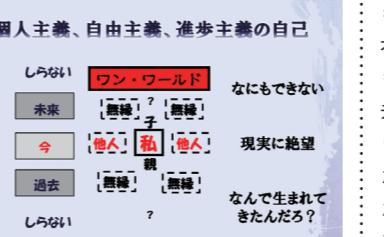
話を戻すが、「志」を立てる者は、自らの力で将来を開拓しようとする。だから、「将来」という言葉を使う。「将来」とは「将に来るべきもの」なのだ。ところが、世の中の既存コースに乗っかって生きている者は、目の前に提示された選択肢の中で自分の人生を決める。そうすると、先々のことは自分で決められないでの、「未来」という言葉を使う。「未来」とは「未知のものが来る」ということだ。最近は、個人だけでなく政治や行政でさえ「未来」という言葉を使うようになってきた。つまり、日本のことを見ると、日本人が決められない仕組みの中にあるということだ。『自分の未来は一体どうなってしまうんだろう』どころじゃなくて、『日本の未来は一体どうなってしまうんだろう』ってな具合だ。

日本も高度成長期には、中間層といわれる国民が大多数を占め、「志」はないが、マイホームを買って、マイカーを買って、子供を大学まで進学させるというのが、戦後日本人の「夢」だった。しかし、今や日本は、経済指標でもロシアに抜かれて世界第5位まで落ち、今後はますます下降していく傾向にある。日本では、いまだに名目GDPで国の経済規模を評価しているが、今は、実際の経済力を正確に評価できる購買力評価GDPが一般的に使われている。IMFの

統計を見れば、2021年以降、日本はロシアに抜かれ、2024年の購買力平価GDPでは、日本は6530.591国際ドルに対し、ロシアが6905.073国際ドルと4年連続で上回っている。世界1位は2016年以降ずっと中国で、2024年では中国の38154.219国際ドルに対し、米国は29184.900国際ドルと圧倒的な差が出てきた。世界銀行の統計でも、2024年は1位中国、2位米国、3位インド、4位ロシア、5位日本となっている。経済成長だけで生きてきた戦後日本だから、経済力が落ちると何も残らない。まさに、夢すら持てなくなつた國の末路へと進んでいる。

日本の10年先を予想する予想屋には大きく2種類あって、過去数年間のデータを使って比例計算する単純思考タイプとグローバリストが作った計画を基に比べている奴だ。

ここが大事なところなんだが、国際情勢が不透明だとか言っている奴は、世界を動かす計画に関わっていないから不透明にしか見えない。例えば、今の日本は、税金がどんどん上がって国民の有り金全部ふんだくられそうな勢いだし、外国人はめちゃくちゃ増えて、2024年の日本の人口は日本人が90万人減っている一方で外国人が50万人増えてきた。日本の国土も水資源も水産資源も農地も外人が自由に買えるような制度を作り、被災した国民にはお金は使わずにアメリカにも、ウクライナにも、ビル・ゲイツにも好きなだけ金をむさぼり取られている。



一体どうなつてんのというのが大方の日本国民の思いだが、実はすべてが計画通りに進んでいるわけだ。その計画立案者は、日本を占領している欧米のグローバリストだよ。だから、彼らにとっては、国際情勢はクリアで、すべてが予定通りに進展する「将来」なんだよ。

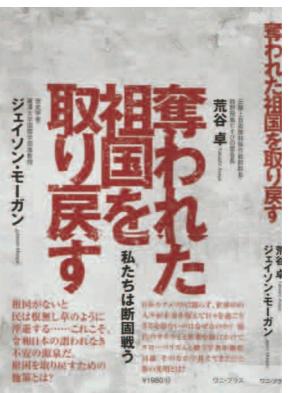
日本が、米国のグローバリストの所有物になったのは、大東亜戦争終戦後の米軍による占領統治からだ。もちろん、それ以前から奴らの手下となって働く売国奴がいたわけだが、国の制度まで全部替えられたのが占領下の7年間での出来事だ。この間に、我々の祖国日本は奪われてしまった。その後は、売国奴による傀儡政体によって日本は運営されてきたわけだが、ここにきて、急ピッチに完全管理社会へと動き出した。

これだけ、社会が悪化してくれば、普通なら国民が団結して改善できるはずなのだが、戦後体制の中で、我々日本国民は解体され、グローバリストが管理しやすいようなひ弱な個人の集団になってしまった。戦後教育の中で、戦前の日本は悪い国で、日本民族はろくでもないことばかりしてきたと啓蒙され、歴史的断絶が図られた。だから、戦後の日本人は、自分たちの祖先のことを何も知らない。自分の家の歴史さえ知らない。お墓参りもしなくなつて、死んだら誰も知らない無縁仏が増えてしまった。個人主義を強要され、「世のため人のため」に生きることは悪いことで「自分のために生きることがよいこととされた。結果として、現代の日本人は、歴史的にも社会的にも完全に孤立した個人としてぼんと存在している。死んだら誰も知らない。生きていっても誰も知らない人も大勢いる。未来に対する影響力は全くない。文字通りの絶対的個人として存在しているわけだ。一時的に友達と仲良く楽しくしていたとしても、最終的には、周りに誰もいなくなり、介護施設か病院で個室に閉じ込められ、家族にも会えず、拘束されて点滴で生かされているだけ。死んだらそれで終わり、その人が生きて存在したことなど完全に消滅してしまう。めちゃくちゃ寂しい、めちゃくちゃ悲しい人生だ。

八紘為宇という民族の理想理念を志として持つ日本人は、先祖の思いと努力を継承しているので日本民族の歴史の主体者として生きている。過去（過ぎ去ったもの）ではなく昔との関わりの中で今自分が存在していることに感謝を感じているわけだ。そして、今、自分が何を為すかで将来が決まるこも自覚しているから、将来に対する己の責任を使命として生きるわけだ。だから、歴史的時間軸において、祖先（昔）と自分（今）と子孫（将来）の間に断絶はない。

家族は共に家を守り、集落の人々は自分達の村を守り、日本人として八紘為宇の理想を共有して団結している。共助共栄の社会は厳然として存在し、常に価値観を共有する集団の中に生きている。したがって、生まれてから死ぬまで、孤立することもないし、保険なんかに入らなくても困ったときは必ず誰かが面倒見てくれる。その存在は、集団の歴史の中に刻まれ、集団の記憶の中に生き続ける。

何よりも、日本民族として八紘為宇の理想理念の実現に向けて生きているわけだから、それが「できる」とか「できない」とかいうことはない。ただただ、その思いで一生を全うするだけだ。そこに向けて毎日生きていから、現実と理想とのギャップもない。一生かけて、民族の理想に一步でも貢献できれば生きた甲斐がある。死ぬまで、その志を変えずに生きれば幸せな一生を送つことになる。また、家や集落や国家への貢献は、社会にとても幸せなことだから皆に感謝される。八紘為宇を志して生きるということは、個人の幸せと社会の幸せが一致し、社会からは感謝され、自分も満足して一生を遂げることになる。こんないいことはないだろ。日本の戦闘者として生きれば、幸せな一生を過ごせるよ。



新刊本『奪われた祖国を取り戻す—我々は断固戦う』荒谷 駿&ジェイソン・モーガン著／ワニ・プラス刊／価格1980円（税込）が発売中。



国際共生創成協会 熊野飛鳥むすびの里  
代表：荒谷 駿